

平成 30 年（2018 年）の秋田焼山の火山活動

仙 台 管 区 気 象 台
地 域 火 山 監 視 ・ 警 報 セ ン タ ー

地震活動、噴気活動、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過しました。

○ 噴火警報・予報及び噴火警戒レベルの状況、2018 年の発表履歴

2018 年中変更なし	噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）
-------------	-----------------------------

○ 2018 年の活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図 1、図 2-①）

焼山監視カメラ（東北地方整備局）による観測では、湯沼の噴気の高さは噴気孔上 100m 以下、
さけびさわ 叫沢源頭部の噴気の高さは噴気孔上 50m 以下で、噴気活動は低調に経過しました。つがもり 梅森に設置している監視カメラによる観測では、湯沼で弱い噴気が認められました。

・ 地震や微動の発生状況（図 2-②、図 3）

火山性地震は少ない状態で経過しましたが、5 月 24 日 10 時 39 分頃に山頂の北東約 3 km を震源とするマグニチュード¹⁾ 1.8 の火山性地震が発生しました。秋田焼山周辺の施設等への聞き取り調査によると、この地震により体を感じる揺れがあったとのこと。秋田焼山では、これまでも同じ場所でマグニチュード 1.5 以上の地震が度々発生しています。

火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動の状況（図 4、図 6）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

1) マグニチュード (M) は地震の規模を示します。資料中の値は暫定値で、後日変更することがあります。

この資料は、仙台管区気象台のホームページ (<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学のデータも利用して作成しています。
 本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 29 情使、第 798 号）。



図 1 秋田焼山 湯沼と叫沢源頭部の噴気の状況

- ・ 左図：山頂の西約 2 km に設置されている焼山監視カメラ（東北地方整備局）の映像（2 月 1 日 18 時 30 分頃）です。
赤丸で囲んだ部分が湯沼の噴気で、この時観測された噴気の高さは 100m です。
- ・ 右図：桐森（湯沼の東約 1 km）に設置している監視カメラの映像（11 月 5 日）です。
赤丸で囲んだ部分が湯沼の弱い噴気です。

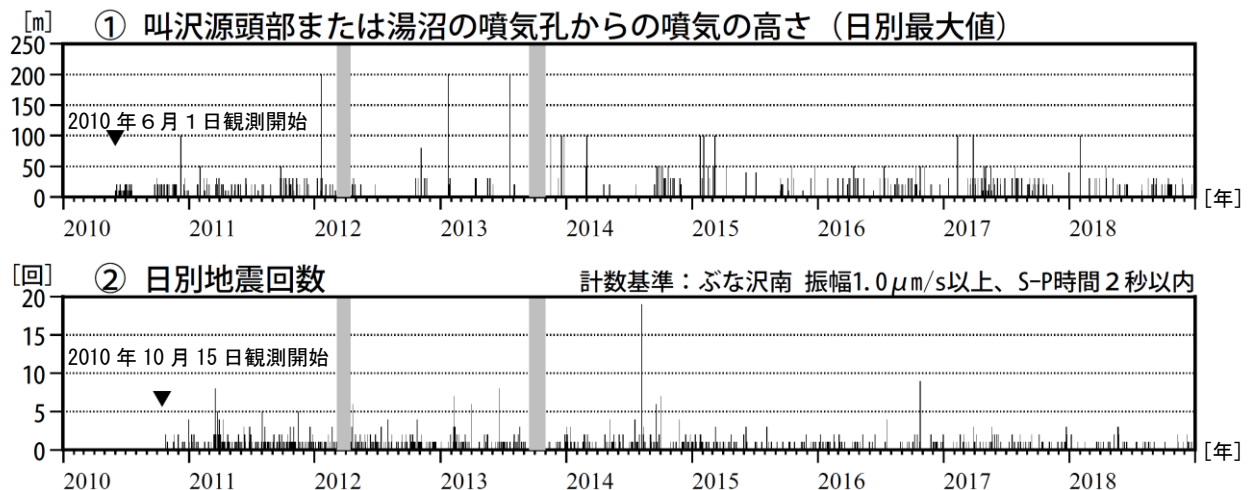


図 2 秋田焼山 火山活動経過図（2010 年 6 月～2018 年 12 月）

- ・ 灰色部分は欠測を表しています。
- ・ ②2015 年 9 月以降は山の南西 7-8km 付近の地震など山体以外の地震を除外した回数です。
(2010 年から 2015 年 9 月までは山の南西 7-8km 付近の地震など山体以外の地震を含みます)

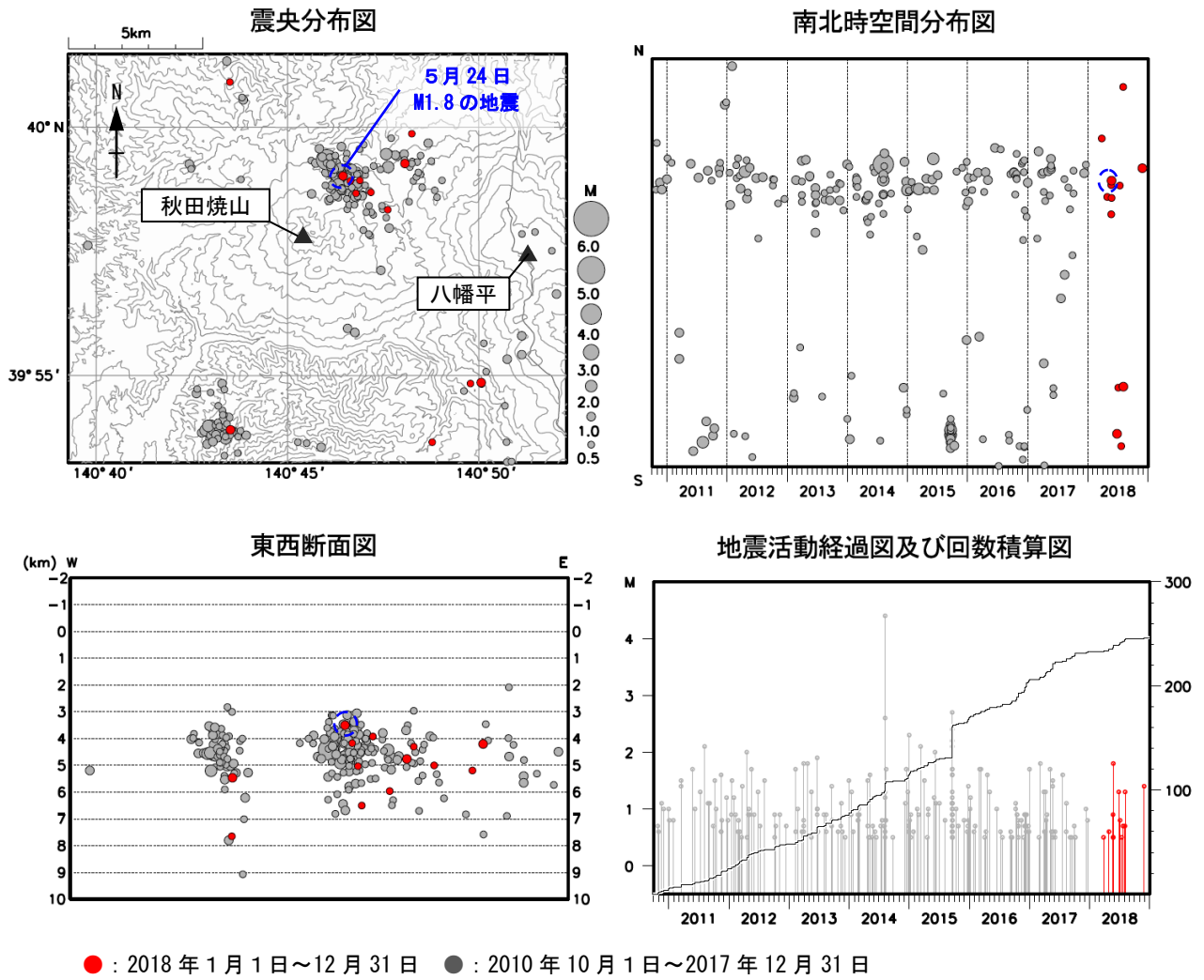


図3 秋田焼山 広域地震観測網による秋田焼山周辺の地震活動図（2010 年 10 月～2018 年 12 月）

- ・ 5 月 24 日に山頂の北東約 3 km を震源とするマグニチュード 1.8 の地震（青破線）が発生しました。秋田焼山では、これまでも同じ場所でマグニチュード 1.5 以上の地震が度々発生しています。

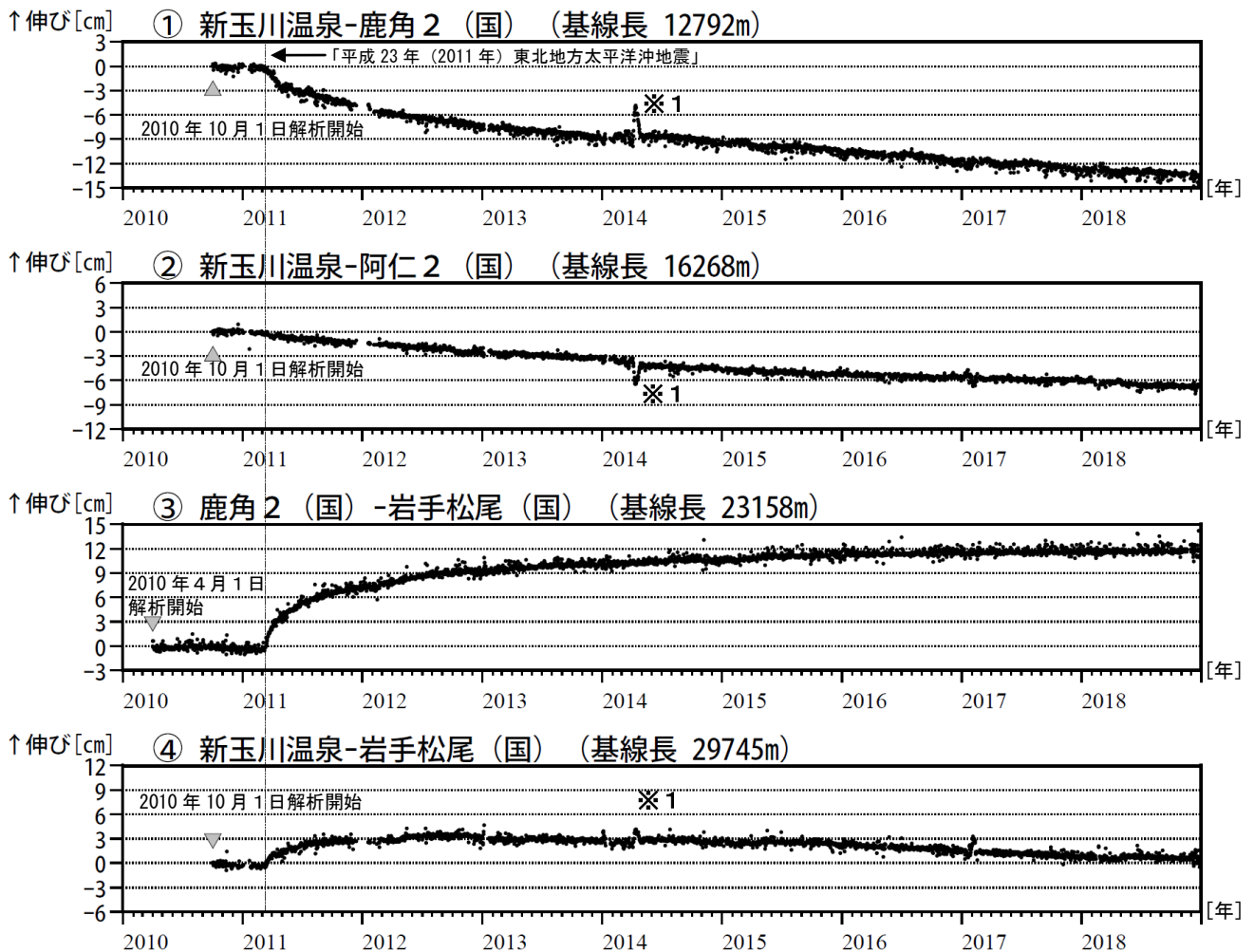


図 4 秋田焼山 GNSS²⁾ 基線長変化図 (2010 年 4 月～2018 年 12 月)

- ・「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
- ・①～④は図 6 の GNSS 基線①～④に対応しています。
- ・グラフの空白部分は欠測を表しています。
- ・(国)は国土地理院の観測点を示します。

※1 2014 年 3 月から 4 月にかけての新玉川温泉観測点の変動は、火山活動に起因するものではないと考えられます。

2) GNSS とは Global Navigation Satellite Systems の略称で、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示します。

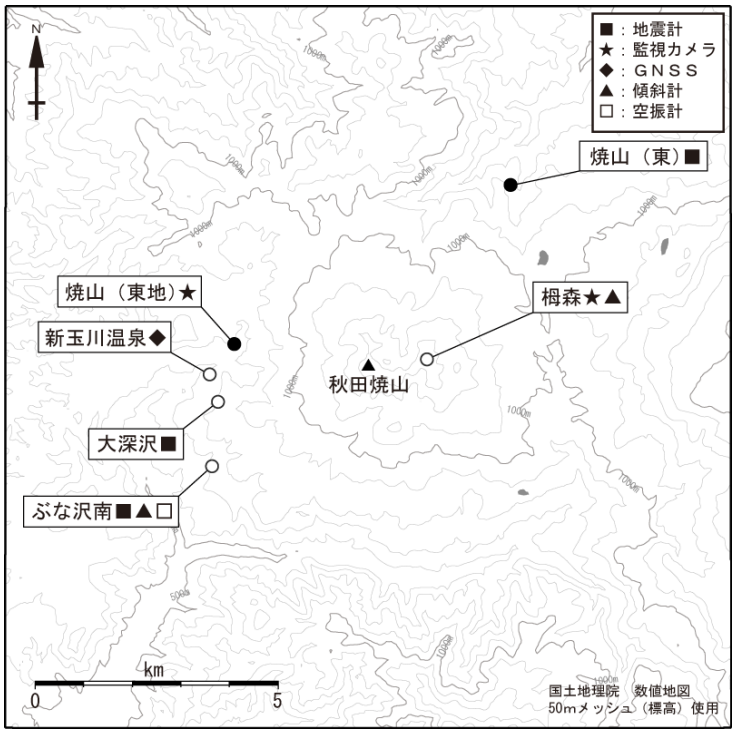


図 5 秋田焼山 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(東地) : 東北地方整備局 (東) : 東北大学

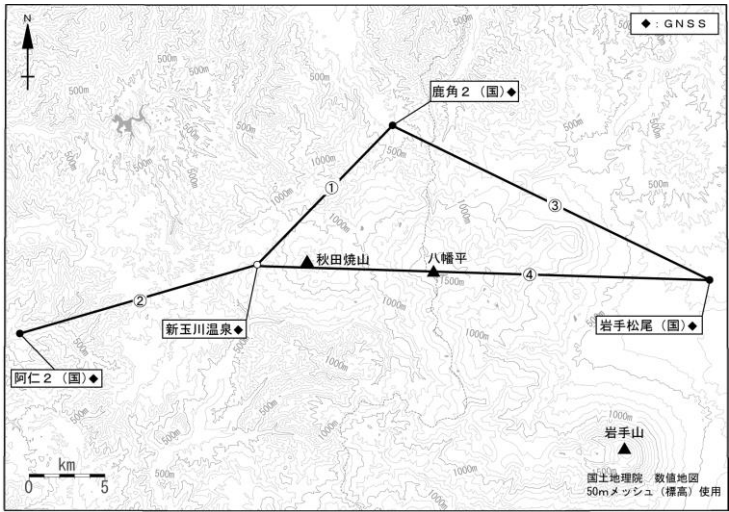


図 6 秋田焼山 GNSS 観測基線図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(国) : 国土地理院

表 1 秋田焼山 気象庁観測点一覧

観測種類	観測点名	位置			設置高 (m)	観測開始日	備考
		緯度	経度	標高 (m)			
地震計	ぶな沢南	39° 56. 71′	140° 43. 17′	738	-101	2010. 10. 15	
	大深沢	39° 57. 44′	140° 43. 24′	813	-2	2016. 12. 01	広帯域地震計
空振計	ぶな沢南	39° 56. 71′	140° 43. 17′	738	4	2010. 10. 15	
傾斜計	ぶな沢南	39° 56. 71′	140° 43. 17′	738	-101	2011. 04. 01	
	柵森	39° 57. 91′	140° 46. 26′	1356	-15	2016. 12. 01	
GNSS	新玉川温泉	39° 57. 75′	140° 43. 11′	733	5	2010. 10. 01	
監視カメラ	柵森	39° 57. 91′	140° 46. 26′	1356	4	2016. 12. 01	可視及び熱映像